

3町も併せた予算の審議のため、この3月議会は通常より2週間早く、この15日から始まります。

初日は10時から、榊原市長の「施政方針演説」が行われます。

ここで、

「新西尾市をどのように運営していくのか、23年度の主要施策の内容は、どのようか」が発表されることとなります。

先週、東京で行われた研修会で、来年度の国の予算編成の概要を聴きました。

そう、今、まさに開会中の通常国会で審議されている内容です。

3町が「減らされる、減らされる…そうなる前に合併を！」と言っていた地方交付税は、来年度も今年に続いて増額されることになりそうです。

小泉内閣の時の交付税の大幅減額に、全国の自治体から大ブーイングが起きたことはみなさんもお存じだと思います。

「平成の大合併」を推し進めるための国の策略、いわゆる「ムチ」ですね。

それで、

「国から金が来なくなる不安」に駆られた自治体がバタバタと合併したものの、

そんなにギリギリと締め付けがきくわけもなく、

10年前に合併した市町村からの恨み節もひきもきらず、

22年度は、たしか、1兆8千億円もの増額でしたし、実際、23年も

増やされそうです。

(全国の自治体に対し、平均的標準的な住民生活を営めるように、国が国税を分配して足りない分を補うのが、今の地方交付税制度なのですから)

まるで「狂想(走?)曲」…でしたねえ～、

そんな風に自治体を振り回し、走らせる「国」に怒りを禁じませんが、

走る方も走る方…とも言えます。

さて、今度の施政方針演説はどのような内容になるのでしょうか。

多くの方に傍聴していただきたいと思います。

(市長にお任せ、議会にお任せじゃダメですよ…)

施政方針演説に対する議員からの「質問」は、28日10時から行われる予定です。